

## 於大の方の足跡（ゆかりの地を訪ねる）

年代	歳	略年譜	足跡	現住所
1528年	1	<b>緒川城で生誕。</b> 父は緒川城主水野忠政。母は華陽院於富の方。	緒川城址	東浦町緒川
1532年	5	於富は忠政に離縁され、岡崎城主松平清康と再婚		
1533年	6	<b>刈谷城に移る</b>	亀城公園	刈谷市城町1-1
1541年	14	<b>岡崎城主の松平広忠(今川方)へ嫁ぐ</b>	岡崎城	岡崎市康生町
1542年	15	峰の薬師(鳳来寺)へ祈願	鳳来寺	新城市門谷字鳳来寺
		<b>竹千代(家康)を生む</b>		
1543年	16	大泉寺創建(薬師如来を本尊とする) 父忠政病死 兄の信元が跡を取り、織田方に組みする	大泉寺	岡崎市中町東丸根
1544年	17	<b>離縁され刈谷へ帰る</b> 刈谷城外の椎の木屋敷に住む	椎の木屋敷	刈谷市銀座
1546年	19	刈谷楞嚴寺(りょうごんじ曹洞宗)で仏門に 乾坤院(曹洞宗)や善導寺(浄土宗)へ度々参詣	楞嚴寺 乾坤院・善導寺	刈谷市天王町 東浦町緒川
1547年	20	<b>阿久比の坂部城主久松俊勝へ再婚</b>	坂部城	阿久比町卯坂字栗之木谷32-4
1554年	27	今川軍の村木砦を信元と信長連合軍が攻略	村木砦	東浦町森岡
1558年	31	信元と元康(家康)が石ヶ瀬で合戦		
1560年	33	元康(家康)と坂部城で再会する 桶狭間合戦で今川方であった元康は大高城で孤立 元康は信元に助けられ岡崎に帰る		
1562年	35	信元が仲介し織田信長と松平元康が清州城で同盟 夫久松俊勝が西郡の上ノ郷城を攻略	上ノ郷城	蒲郡市神ノ郷町
		<b>岡崎城を守る夫とともに岡崎へ移る</b>	岡崎城	岡崎市康生町
1570年	43	<b>家康、岡崎城より浜松城に移る</b>		
1575年	48	佐久間信盛の讒訴のため、信元は家康により殺される 水野一族は分散		
1577年	50	佐久間の兵が坂部城を焼く		
1580年	53	佐久間追放 信元に罪がないことが分かり、関係修復される		
1582年	55	本能寺の変		
1587年	60	夫久松俊勝逝去 遺骨は蒲郡の安楽寺と阿久比の洞雲院(トウウンイン)へ	洞雲院	阿久比町卯坂
1588年	61	<b>薙髪し尼となり「傳通院」の号を授かる</b>	安楽寺	蒲郡市清田町門前四
1590年	63	<b>家康とともに江戸へ移る</b> 長男康元は下総関宿城主。	江戸城 関宿城	東京都千代田区千代田 千葉県野田市
1594年	67	母と自身の姿の肖像画を楞嚴寺へ納める		
1598年	71	豊臣秀吉没		
1600年	73	関ヶ原の戦いで、家康が天下を支配する		
1602年	75	伏見城の家康を訪ねる 於祢(高台院)を訪ねる 豊国神社 御所に参内して後陽成天皇に拝謁	伏見城 高台寺 豊国神社 御所	京都市伏見区桃山 京都市東山区高台寺下河原町 京都市東山区大和大路 京都市上京区京都御苑3番
		<b>8月逝去</b> 葬儀は京都知恩院 最初に、遺骸は江戸に運ばれ、増上寺に納められた 大塚原で荼毘に付され、そこに智香寺・光岳寺が建てられ	伏見城 知恩院 増上寺 智香寺 光岳寺	京都市伏見区桃山 京都市東山区東山区林下町 東京都港区芝公園 東京都文京区大塚3-28-12 東京都調布市(大塚から移転)
		<b>遺骸は江戸小石川の傳通院に葬られる</b> <b>遺髪は久松家の菩提寺である洞雲院の遺髪墓と岡崎の大泉寺に納められる</b> <b>位牌は善導寺・乾坤院・洞雲院・楞嚴寺・光岳寺(野田市)にも安置されている</b>	傳通院	東京都文京区小石川3-14
1994年		平成 6年。東浦町で「於大まつり」開始		
2003年		平成15年。「於大公園」完成。		東浦町緒川 都県名表示なしは愛知県

水野家は曹洞宗(乾坤院、楞嚴寺、洞雲院、大泉寺)  
松平家は浄土宗(善導寺、安楽寺、西山深草、智香寺、知恩院、傳通院、増上寺、光岳寺)  
戒名は「伝通院殿睿光岳智香大禅定尼」。

参考:「於大の方と水野氏」東浦町教育委員会